



しあの 議会だより

2015年
NO. 42

平成27年11月1日発行
青森県七戸町議会
広報編集特別委員会



10月10日(土) **ドラキュラフェスタ開催** (関連記事16ページに掲載)

9 月 定 例 会

決算審査特別委員会	2～4
定例会・臨時会の主な審議内容	5～6
一般質問に3人登壇	7～9
委員会の動き	10

平成 26 年度各会計歳入歳出決算

決算審査特別委員会

賛成多数で認定 (賛成 12、反対 2)



代表監査委員
野田 幸子



副委員長
澤田 公勇



委員長
附田 俊仁

決算審査
特別委員会
9月1日・8日・9日

反対する根拠の具体例を2点述べます。
1点目は、秋祭りへの子供の参加協力体制が出来ていなかった点です。子供の頃にいかに楽しい思い出を残してあげられるかで、Uターンしたいという気持ちになるかどうかが決まると思います。さらにこの提案は、町民の一体感の醸成という観点からも、私にとつて大事な提案の一つでした。
2点目は、地域おこし協力隊の活用についてです。町の人口をなんとかしても増やしたいならば、活用せずにはいられない制度です。この制度を最大限活用することを考えると、より多くの町民、特に事業者によく理解し



清悦 委員

反対討論

てもらふ必要があります。昨年の町政座談会等でも町民に周知する方法はあったはずですが、残念ながら平成26年度の決算からは、最重要課題である人口減少への危機感も、その課題への対策に全力で取り組む意欲も伝わってこない結果となつているので、反対します。
1点目については、町財政が電源三法交付金に依存していることです。長期的に考えると、このままの核燃への継続的な依存は、最終的に行き詰まっていけます。特に原燃の問題は、福島事故以来、現在も非常に厳しい状態です。核燃に頼らない予算を編成し、決



佐々木寿夫 委員

反対討論

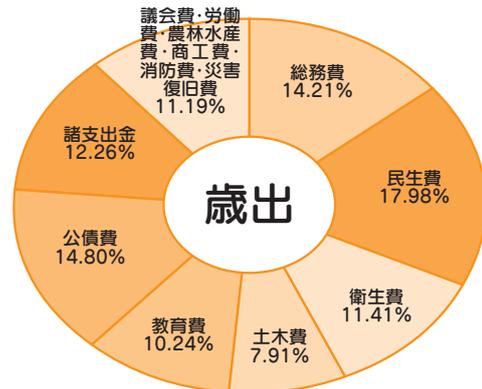
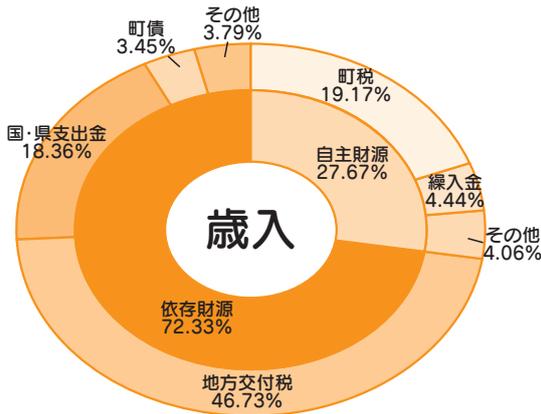
算に繋げていかなければなりません。
2点目は、防災に対して力が注がれなかったことです。
昨今の自然災害等により、全国的に大きな被害が出ている状況にありますが、我が町の災害時の避難態勢には不備があると感じています。



決算審査特別委員会の様子

- 賛成委員
- 三上 正二
 - 白石 洋
 - 中村 正彦
 - 田島 政義
 - 松本 祐一
 - 田嶋 弘一
 - 盛田 恵津子
 - 瀬川 左一
 - 岡村 茂雄
 - 澤田 公勇
 - 小坂 義貞
 - 二ツ森 英樹

平成26年度 一般会計決算



歳入 98億0,888万8,232円

歳出 96億7,758万9,230円

自主財源	27億1,404万9,159円
町税	18億8,030万7,814円
繰入金	4億3,520万7,647円
その他	1億2,645万7,337円
分担金及び負担金	8,253万8,134円
使用料及び手数料	4,492万8,411円
財産収入	164万7,550円
寄附金	7,602万0,910円
繰越金	6,694万1,356円
諸収入	6,694万1,356円
依存財源	70億9,483万9,073円
地方交付税	45億8,367万3,000円
国・県支出金	18億0,093万1,071円
町債	3億3,810万0,000円
その他	1億5,248万8,002円
地方譲与税	246万3,000円
利子割交付金	556万7,000円
配当割交付金	231万6,000円
株式等譲渡所得割交付金	1億8,410万0,000円
地方消費税交付金	1,962万2,000円
自動車取得税交付金	306万7,000円
地方特例交付金	251万2,000円
交通安全対策特別交付金	251万2,000円

総務費	13億7,478万6,530円
民生費	17億3,987万7,769円
衛生費	11億0,401万2,674円
土木費	7億6,531万2,388円
教育費	9億9,060万9,672円
公債費	14億3,243万2,354円
諸支出金	11億8,662万5,333円
議会費	1億0,712万4,041円
労働費	105万2,167円
農林水産業費	3億6,115万2,890円
商工費	3億0,012万1,502円
消防費	2億8,015万0,213円
災害復旧費	3,433万1,697円

歳入	98億0,888万8,232円
歳出	96億7,758万9,230円
差引額	1億3,129万9,002円
◎差引額のうち、7千万円を基金に繰入	

一般会計対前年度比較表

(単位：円)

区分	予算現額	歳入		歳出		
		収入済額	収入未済額 ※1	支出済額	翌年度繰越額	不用額 ※2
平成26年度	9,988,422,000	9,808,888,232	307,734,981	9,677,589,230	222,312,000	88,520,770
平成25年度	10,122,494,000	10,107,472,092	199,911,240	9,931,451,182	94,709,000	96,333,818
差引額	△134,072,000	△298,583,860	107,823,741	△253,861,952	127,603,000	△ 7,813,048

※1 収入未済額＝見込んだ収入額と実際の収入額との差額

※2 不用額＝経費の節減等により支出が減となった額

監査委員審査意見

審査に付された各決算は関係書類と照合した結果、計数において誤りがなく、各決算の内容及び予算の執行については議決予算によって執行されており、法令規則に基づいて適切に処理されているものと認めた。

町税・国民健康保険税及び税外収入に係る不納欠損処理については、今後とも適正な対応が望まれる。

また、現年課税分の収入未済額については、町税・国民健康保険税及び税外収入（住宅使用料、水道使用料等）に年々減少の傾向がみられるものの、賦課徴収の公平性確保はもとより、徴収率を向上させて収入未済額を極力解消するよう、なお一層の厳しい対応が望まれる。

特別会計決算

◎ 国民健康保険

(単位：円)

区 分	予算現額	歳 入		歳 出		
		収入済額	収入未済額 ※1	支出済額	翌年度繰越額	不用額 ※2
平成26年度	2,252,578,000	2,221,346,129	133,954,336	2,221,346,129	0	31,231,871
平成25年度	2,367,640,000	2,318,017,542	155,034,565	2,318,017,542	0	49,622,458
差 引 額	△115,062,000	△96,671,413	△21,080,229	△96,671,413	0	△18,390,587

◎ 後期高齢者医療

(単位：円)

区 分	予算現額	歳 入		歳 出		
		収入済額	収入未済額 ※1	支出済額	翌年度繰越額	不用額 ※2
平成26年度	335,336,000	335,280,955	39,000	335,114,953	0	221,047
平成25年度	342,803,000	342,686,886	105,700	342,562,376	0	240,624
差 引 額	△7,467,000	△7,405,931	△66,700	△7,447,423	0	△19,577

◎ 介護保険

(単位：円)

区 分	予算現額	歳 入		歳 出		
		収入済額	収入未済額 ※1	支出済額	翌年度繰越額	不用額 ※2
平成26年度	2,297,318,000	2,306,509,918	7,608,320	2,242,636,059	0	54,681,941
平成25年度	2,207,615,000	2,216,285,683	6,859,896	2,184,192,057	0	23,422,943
差 引 額	89,703,000	90,224,235	748,424	58,444,002	0	31,258,998

◎ 介護サービス事業

(単位：円)

区 分	予算現額	歳 入		歳 出		
		収入済額	収入未済額 ※1	支出済額	翌年度繰越額	不用額 ※2
平成26年度	6,504,000	6,597,439	0	5,844,605	0	659,395
平成25年度	9,162,000	9,204,962	0	9,052,396	0	109,604
差 引 額	△2,658,000	△2,607,523	0	△3,207,791	0	549,791

◎ 七戸霊園事業

(単位：円)

区 分	予算現額	歳 入		歳 出		
		収入済額	収入未済額 ※1	支出済額	翌年度繰越額	不用額 ※2
平成26年度	3,168,000	3,178,752	0	3,128,788	0	39,212
平成25年度	2,493,000	2,507,093	4,800	2,460,760	0	32,240
差 引 額	675,000	671,659	△4,800	668,028	0	6,972

◎ 公共下水道事業

(単位：円)

区 分	予算現額	歳 入		歳 出		
		収入済額	収入未済額 ※1	支出済額	翌年度繰越額	不用額 ※2
平成26年度	428,419,000	428,846,728	7,643,121	428,203,724	0	215,276
平成25年度	523,968,000	491,860,834	40,272,532	448,953,906	73,980,000	1,034,094
差 引 額	△95,549,000	△63,014,106	△32,629,411	△20,750,182	△73,980,000	△818,818

◎ 農業集落排水事業

(単位：円)

区 分	予算現額	歳 入		歳 出		
		収入済額	収入未済額 ※1	支出済額	翌年度繰越額	不用額 ※2
平成26年度	60,603,000	60,635,344	2,883,454	60,592,409	0	10,591
平成25年度	59,476,000	59,499,179	2,865,664	59,463,640	0	12,360
差 引 額	1,127,000	1,136,165	17,790	1,128,769	0	△1,769

◎ 水道事業(収益的収支)

(単位：円)

区 分	歳 入			歳 出			
	予算現額	決算額(税込)	決算額(税抜)	予算現額	決算額(税込)	決算額(税抜)	不用額 ※2
平成26年度	463,976,000	467,100,398	446,404,849	315,467,000	266,935,619	262,260,602	48,531,381
平成25年度	289,722,000	291,271,142	277,734,996	281,363,000	219,761,617	217,176,706	61,601,383
差 引 額	174,254,000	175,829,256	168,669,853	34,104,000	47,174,002	45,083,896	△13,070,002

(※1、※2は、3ページ注記参照)

9月定例会

平成27年第3回定例会は9月1日に開会し、瀬川左一議会運営委員長の報告のとおり、会期を11日までの11日間と決定しました。

1日は、町長の提案理由説明、決算審査特別委員会を設置、3日は一般質問（3人）、8日・9日は、委員会で決算審査、最終日の11日は議案審議を行いました。

提出された議案は、本会議で審議され、全議案可決され予定どおり閉会しました。

主な審議内容

議案

- 【条例の改正関係】
- 七戸町課設置条例の改正
 - 新たに、地域おこし総合戦略課を設置するために改正するものです。
 - ☆全会一致で可決
- 個人情報保護条例の改正
 - 行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の規定に基づき、改正するものです。
 - ☆全会一致で可決
- 防災会議条例の改正
 - 災害対策基本法の一部を改正する法律の施行に伴い、改正するものです。
 - ☆全会一致で可決
- 災害対策本部条例改正
 - 災害対策基本法の一部を改正する法律の施行に伴い、改正するものです。
 - ☆全会一致で可決
- 手数料条例の改正
 - 行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の規定に基づき、改正するものです。
 - ☆全会一致で可決
- 七戸幼稚園設置条例を廃止する条例

平成27年度9月補正予算

区分	補正額	予算総額
一般会計	2億610万9千円 →	106億2,494万3千円
特別会計		
介護保険	4,469万9千円 →	23億6,773万7千円
七戸霊園事業	7千円 →	194万0千円
公共下水道事業	△108万1千円 →	4億1,810万4千円
農業集落排水事業	138万0千円 →	6,229万7千円

一般会計補正予算の内容	歳入の主なもの	歳出の主なもの
	・地方交付税 1億762.8万円	・土木費等（道路橋梁費）
	・国庫支出金 528.5万円	（除雪作業業務委託料及び道路維持作業業務委託料 他）
	・繰入金 145.0万円	・教育費等（中学校費）
		（七戸中学校屋外運動場等改修測量設計業務委託料 他）
		・教育費等（保健体育費）
		（天間林体育館・屋内温水プール消防設備改修工事費 他）
		277.3万円

- 町立七戸幼稚園の廃園に伴い、条例を廃止するためのものです。
- ☆全会一致で可決
- 町道路線の認定
 - 甲田沼12号線375.5メートルを町道に認定するため、議会の議決を求めます。
 - ☆全会一致で可決
- 平成27年度補正予算（左表参照）
 - ☆全会一致で可決
- 児童センター設置条例の改正
 - 天間西児童センターの建設に伴い、地方自治法の規定に基づき改正する
 - ☆全会一致で可決
- 保育の必要性の認定基準に関する条例改正
 - 子ども・子育て支援法の施行に伴い、改正する
 - ☆全会一致で可決

報告

○平成26年度決算に基づく健全化比率及び資金不足比率の報告（下表）

☆報告

発議

○年金積立金の専ら被保険者の利益のための安全かつ確実な運用に関する意見書の提出

賛成5人 反対10人 ☆否決

○地方財政の充実・強化を求める意見書の提出

賛成8人 反対7人 ☆可決

○国際平和支援法・平和安全法整備法案制定に反対する意見書の提出

賛成8人 反対7人 ☆可決

健全化判断比率・資金不足比率

	平成26年度七戸町における比率	国の示す早期健全化基準	①～④のいずれかの数値が、国の示す基準数値を超えた場合は、破たん寸前の「早期健全化団体」に指定され、財政再建計画などが義務付けられる。
①実質赤字比率	— (%)	14.10 (%)	⑤の資金不足比率は、公営企業会計（水道、下水道）の営業収益に対する手持ち資金の不足額の割合で、低いほど健全とされる。七戸町は、すべての項目が数値を下回っているため、弾力ある財政運営が可能になっている。
②連結実質赤字比率	— (%)	19.10 (%)	
③実質公債費比率	8.8 (%)	25.0 (%)	
④将来負担比率	43.8 (%)	350.0 (%)	
⑤資金不足比率	— (%)	20.0 (%)	

第2回
臨時議会
平成27年7月21日

議案

○七戸町一般会計補正予算(第3号)

500万円を追加し、総額を104億1千883万4千円とするものです。

☆ 全会一致で可決
〔物品購入契約の締結〕
○コミュニティバス交換購入(中型バス)

バス購入契約のため、議会の議決を求めます。

☆ 全会一致で可決
○除雪ドーザ5t級購入

除雪ドーザ2台の購入契約のため、議会の議決を求めます。

☆ 全会一致で可決
〔工事請負契約の締結〕
○天間林中学校校舎新築工事

工事契約のため、議会の議決を求めます。

の議決を求めます。

☆ 全会一致で可決
○天間林中学校校舎電気設備工事

電気設備工事の契約のため、議会の議決を求めます。

☆ 全会一致で可決
○天間林中学校校舎機械設備工事

機械設備工事の契約のため、議会の議決を求めます。

☆ 全会一致で可決
○七戸町防災行政無線施設整備工事

工事契約のため、議会の議決を求めます。

☆ 全会一致で可決
○(仮称)七戸町天間西児童センター建築工事

建築工事契約のため、議会の議決を求めます。

☆ 全会一致で可決
○中部上北広域事業組合規約の変更

地方教育行政の組織及び運営に関する法律の改正に伴い、組合の規約の変更について、議会の議決を求めます。

☆ 全会一致で可決
○上北地方教育・福祉事務組合規約の変更

地方教育行政の組織及び運営に関する法律の改正に伴い、組合の規約の変更について、議会の議決を求めます。

☆ 全会一致で可決

一年ぶりに復活したドラキュラ伯爵



ドラキュラフェスタ開催

七戸ドラキュラdeまちおこし実行委員会主催

平成27年10月10日(土)中央商店街をメイン会場に2015ドラキュラフェスタが盛大に開催されました。当日の参加者は800人を超える盛況ぶりであり、中でも親子連れの参加者が多く賑わいをみせておりました。



「天魔の里の、吸血鬼のはなし」の巨大絵本を観賞する来場者

一般質問

佐々木寿夫 議員



一問一答方式

脳ドック検診費用助成を

町長 リスクの高いものから 助成していく

議員

町の人間ドックや特定検診では、癌、心疾患の検査料の助成はしているが、脳卒中など脳血管疾患、脳ドックについてはカバーされていない。

町長

平成25年度青森県人口動態統計の概況によると、1位が癌、2位が心疾患、3位が肺炎、4位が脳血管疾患、当町では、3位までは同じで、4位が老衰、脳血管疾患は5位となっている。

議員

死亡原因の割合は高くはないというものの、寝

たきり原因の第1位が脳血管疾患であり、その予防のための脳ドック検診は、多額な費用がかかる。

町長

町がその費用の助成を行う考えはないか。あらゆる検診の費用を助成することができれば理想だが、実際は死亡原因の順位が高く、死亡割合の高い疾患から順に対応している状況。脳ドックの費用の助成は、今後の検討課題と捉えているが、現時点で予定はない。

美術館の美術品の管理状況は

議員

小さな町の美術館として開館された鷹山宇一美術館は道の駅や七戸十和田駅と相まって存在感を増しているところだが、美術館で管理している美術品の種類、所有者はどうなっているか。

教育長

町が所有するものは、鷹山宇一氏油彩画9点、

鳥谷幡山氏の掛け軸中心の日本画21点、上泉華陽氏の墨絵1点、石版画やブロンズ等4点、西洋オイルランプが146点、スペイン陶器285点、合計465点。

議員

公益財団法人鷹山宇一記念美術振興会が所有する美術作品68点、美術資料は78点、合計146点。ほかに、財団へ個人・団体等から寄託されたものが約300点である。

美術館と台帳との照合、美術品の管理場所はどうか。

教育長

町所有の美術作品は、年1回、現品と台帳の突き合わせを行っている。管理は、美術館内と展示室、絵画等は収蔵庫で陶器等の美術品は倉庫で保管している。

町立盛田記念図書館(盛田文庫)のあり方は

議員

図書整理の状況は。

教育長

図書整理ボランティアの方々の協力を得て、現在も整理作業を行っている。

議員

これからのあり方は。書籍等の最終的な整理の方向性が明確になっていない等の課題も生じているので、今後は盛田氏、盛田文庫の会、教育委員会と協議していく。

プレミアム商品券について

議員

町は、地方消費喚起・生活支援のためにプレミアム率3割の商品券の発行を行ったが、どれぐらいの人が購入し、最も多く購入した人は。

町長

七戸・天間林両商工会で900人。最も多く購入した人は、40セットだが、職場の同僚の分も合わせての購入というのが実情である。

議員

売り切れて購入できなかった人がいると聞いたが、販売方法に工夫の余地はなかったか。

町長

過去の商品券事業の反省もあり、今回も完売までは数日を要すると想定したが実際は即日完売となり、購入できなかった町民の方へは申し訳ない思いでいる。

議員

町の既存商店と郊外の大規模店舗の商品券使用割合は。

町長

8月20日現在で、大型店舗65%、地元商店が35%となっている。

議員

町の商品券発行に係る手数料は、商工会に支払っているか。

町長

交付金事業なので事務手数料は該当しない。

小坂 義貞 議員

老朽化する 道路橋の対策は

町長 計画的な修繕、補修、 架け替えを実施していく



一問一答方式

議員

最近国、県、そして各市町村の橋梁補修工事の発注が見受けられている中で、我が町の老朽化する道路橋の現状は。

町長

現在、町道として管理する道路橋は102橋。うち、建設後50年を経過する橋梁は3橋あり、10年後には、全体の27%の橋梁が50年を経過する見通しとなっている。

議員

一般的に、コンクリートの耐用年数は、50年といわれている中で、町は今後の橋梁補修工事をどのように計画しているか。

町長

町は、平成22年度に「橋梁長寿命化修繕計画」を策定し、同計画に基づき事業を実施。

対象橋梁ごとに概ねの点検時期、修繕の内容・時期、架け替え時期等の計画を定め、従来の事後

的な修繕・架け替えから、

予防的な修繕・架け替えを図り、費用の縮減を図っていく。

議員

修繕計画に基づいて橋梁補修工事を行っているという説明だが、現時点で橋梁の点検及び計画の策定の進捗は。

建設課長

平成27年4月1日時点で、94橋の調査点検が完了。修繕計画策定済みの橋梁は30橋。今年度策定する35橋と合わせて65橋となり、策定率は64%の見込みである。

鉢森平地区の 河川堤防対策は

議員

鉢森平地区は軟弱地盤であるため、堤防が水田の高さまで沈下しており、集中豪雨などにより、堤防が決壊する恐れがあるので、早期に二ツ森川の河川補修整備を計画でき

ないか。

町長

当該地区の河川堤防施設の破損・劣化状態は著しいものと町でも認知している。

榎林土地改良区からも被害の状況報告と堤防の嵩上げ等の整備要望を受けていて、所管している県に対し、堤防補修・整備を要請しているところである。

議員

改善を進めていかなければ条件の適さない耕地が耕作放棄地になることが予想されるので、早めの対策を。

町長

町としても被害の甚大さを憂慮。農業生産活動にも支障を来している現状を踏まえ、県に対し、堤防の補修・整備を引き続き、強く要望していく。

町道に係わる 踏切対策は

議員

町道貝塚、甲田線は、住民の生活道路として大変重要な路線である。

李沢踏切内の線路中央部の段差があまりにもあり、踏切内を横断する一般車両等が大変危険を感じると聞いている。早急に対策を。

町長

現地調査を行い、現状を確認。踏切の保安管理者である「青い森鉄道」に対し、要望していて、工事の日程調整中と返事を頂いているが、なるべく早い時期での工事を再度要請する。

清悦 議員



一問一答方式

まずはトマトのブランド化を

町長 産地間競争に勝つために進める

議員

まず、「七戸町」のブランド化を進めるために、七戸町の認知度を向上させる必要がある。

「ドラキュラdeまちおこし実行委員会」がデザイナートのトムスマ氏にロゴマークの依頼をし、町民の誰もが使えるロゴマークを考案してもらったが、その普及を図る手段として、山車団地東側の壁に大型看板を設置するのが最良だと考えたが、町長の考えは。

町長

任意団体が独自に作成したロゴマークを、大型看板として公共的な施設に設置することは、町公認との誤解を受ける恐れがあるためできない。

議員

町の特産品でもあるトマトのブランド化についての町長の考えは。

町長

米の地位低下が著しいため、複合経営による農業所得の向上を図るために、トマトを中心とした

施設園芸、野菜への取り組みを支援している。

トマトは特に近年、作付面積が増加し、七彩館ではニンニク、長芋に次ぐ販売額となっていて、購入者からもフルーツのようなトマトが買えると好評を得ている。

糖度の高いトマトが増えることは評価が高まり有利販売につながると考えている。トマトを基幹作物の一つと位置付け、産地間競争に勝つためにブランド化に向けて工夫を凝らして進めたい。

議員

ブランド化には、トマト農家が味の向上を目指す仕組み作りが必要。オータムフェスタの農林畜産物共進会で、大きさ・形状・色による従来の選考方法に、比重・糖度・コク濃度・断面形状等の評価項目を追加し、試食を行って町長賞を決めてはどうか。

そこで得られたデータは、農協の指導員が農家を指導する際の貴重なデータにもなる。

町長

大変に結構なこと。農協では現在、糖度で区分けした販売は行っていないが、糖度の高いトマトを生産できている農家もある。七戸ブランドとして先行してスタートさせたい考えはある。

地域おこし協力隊を 農業生産法人に

議員

ゆうぎ青森農協が来年4月に設立する農業生産法人は、就農を目指す地域おこし協力隊の受け皿として最適だと思う。

同農協と連携し、協力隊を受け入れる考えはあるか。

町長

単に農家の労働力不足を補うというのであれば、この制度は馴染まない。農協がこの制度をどのくらい理解し、どう活用できるか十分な協議が必要。協力隊活動終了後に、実際、町に定住できるような仕事がある程度ある

のか、よく精査し、活用に向けて進めていきたい。

議員

制度の周知活動を強化すべきでは。

町長

地域おこし協力隊の趣旨や目的をしっかりと理解し、具体的な課題を示して活動してもらうことが大事。ホームページや報誌を活用して積極的に周知を図る。

議員

関東圏等の大学に進学し、地元就職を希望する人が、この制度を活用しているケースもあるが、副町長はこの活用例をどう思うか。

副町長

地元出身のUターン者が協力隊として来ることにはメリットが多い。七戸高校の進学予定の生徒を対象にしたアンケートでは、約16%が帰ってきたいと回答。今後、県外の大学生に向けて、リクナビに登録していない県内企業の情報を送付する事業も展開したい。

委員会の動き

◎総務企画常任委員会

開催日 平成27年8月19日

案 件 ① 9月定例会における各課懸案事項

② 平成26年度滞納状況及び不納欠損

(町税・国民健康保険税・介護保険料)

内 容 各課長より懸案事項の説明、税務課長より滞納状況等の説明を受け協議した。

◎建設産業常任委員会

開催日 平成27年8月18日

案 件 ① 9月定例会における各課懸案事項

② 平成26年度滞納状況(住宅使用料・水道使用料・下水道使用料)

内 容 各課長より懸案事項の説明、建設課長・上下水道課長より滞納状況の説明を受け協議した。

◎文教厚生常任委員会

開催日 平成27年8月19日

案 件 ① 9月定例会における各課懸案事項

② 平成26年度滞納状況(奨学資金貸付金・保育料・後期高齢者医療保険料)

内 容 各課長より懸案事項の説明、学務課長・社会生活課長・町民課長より滞納状況の説明を受け協議した。

説明を受け協議した。

◎議会運営委員会

開催日 平成27年8月21日

案 件 ① 9月定例会提出議案等

② 決算審査特別委員会の運営方法

内 容 総務課長・財政課長より提出議案等の説明を受けた後、一般質問、陳情の取り扱い、決算審査特別委員会の運営方法、会期日程等を審議した。

◎議会広報編集特別委員会

開催日 平成27年10月7日・15日

案 件 「しちのへ議会だより」の編集

内 容 11月1日発行の「しちのへ議会だより」42号の編集作業を実施した。

広報研修会出席報告



今回アドバイスを受けた県内5町村の議会だより

編集後記

マイナンバー制度が始まって、様々な行政効率化が期待できると言われています。しかし、詐欺にまつわる事件が開始されています。この制度をよく理解できない高齢者などの個人情報管理が気になります。

(岡村)

議会広報編集特別委員会

委員長 二ツ森 英 樹

副委員長 佐々木 寿 夫

委員 岡 村 茂 雄

訶 田 清 悦

澤 田 公 勇

小坂 義 貞

8月28日に青森市で開催された、県町村議会議長会主催の広報研修会に5名の委員が出席しました。

今年は、統一地方選挙の年で新たな広報編集委員が多かったためか、研修会場が「県共同ビル」から「ウエディングプラザアラスカ」に変更になりました。

議会広報サポーターとして活躍されている、講師の芳野政明氏から「住